

日本情報地質学会 2012 年度シンポジウム
— 地形・地質・地球物理情報の三次元モデリング —

国土インフラの構築と維持・修復，防災，環境保全，資源開発などに役立てるため，地質・地形・地球物理などの基盤的情報を有効的に活用する必要があります。それには，地表及び地下空間の地質構造や物性を推定する三次元モデリング手法と実用的なシミュレーション，及び，その検証が必須です。

日本情報地質学会は，地質情報等の空間モデリング手法について，2009年度は「基礎情報とリンクした三次元地質モデリング手法」，2011年度は「空間モデリングによる地質情報の利活用」と銘打ったシンポジウムを開催してきました。今年度は，更に議論を深めるために，三次元地下探査手法，地下データを用いたモデリングとシミュレーションに関するシンポジウムを，下記のように開催します。

主 催：日本情報地質学会

共 催：独立行政法人 産業技術総合研究所，一般社団法人 全国地質調査業協会連合会
一般社団法人 資源・素材学会 探査工学部門委員会

後 援：日本地質学会情報地質部会

日 時：2012年11月2日(金)12:50-17:30

会 場：産業技術総合研究所・臨海副都心センター 本館4階 第1会議室(412)

http://www.aist.go.jp/aist_j/guidemap/tokyo_waterfront/tokyo_waterfront_map_main.html

「新橋」から「ゆりかもめ」で16分「テレコムセンター」下車徒歩5分

参加費：・シンポジウム 3,000円(要旨集代含)

・意見交換会 3,000円(予定)

スケジュール

12:50-13:00 主催者挨拶

13:00-13:30 花崗岩体での亀裂と透水性の三次元モデルに基づく地下水流動シミュレーション
小池 克明 [京都大学]

13:30-14:00 地下水流動・熱輸送解析による地中熱交換量マップ
吉岡 真弓・内田 洋平 [産業技術総合研究所]

14:00-14:30 物理探査船『資源』の海底下三次元探査
三宅 一弘 [JOGMEC]

14:30-14:40 休憩

14:40-15:10 Digital Elevation Model から判読できる三次元地形・地質情報
井上 誠 [(有)地球情報・技術研究所]

15:10-15:40 谷埋め盛土斜面の安定に及ぼす3次元地震動応答特性の影響
山本 裕司 [基礎地盤コンサルタンツ(株)]

15:40-15:50 休憩

15:50-16:20 大規模地すべりにおける三次元モデル構築の試み
田中 康博 [応用地質(株)]

16:20-16:50 ミュー粒子による空洞探査—三次元密度構造—
鈴木 敬一 [川崎地質(株)]

16:50-17:30 コメントと総合討論

コメント：第34回 IGC など世界の三次元モデリングの話題
久保 大樹 [京都大学]，古宇田 亮一 [産業技術総合研究所]

17:45-19:15 意見交換会：イタリア市場ヴァリオ テレコムセンター店(予定)

連絡先：日本情報地質学会 office@jsgi.org

【参加ご希望の方】当日参加も承りますが，人数の把握をするために，見込で構いませんので参加申し込みを頂ければ幸いです。参加申し込みは，件名に「情報地質シンポジウム参加申込」と明記して，御名前・御所属・e-mail アドレスを上記アドレスまでお送り下さい。よろしく，ご協力をお願いします。